

結果報告

交通社会実験の結果を検証

一方通行化を見合わせ
現在の両方向通行を
前提にバリアフリー化

昨年10月に行った阪急長岡天神駅周辺の交通社会実験。だれもが安心して歩ける道にする方法として、アゼリア通りと天神通りを一方通行化しました。期間中は、区域内の住民の皆さんをはじめ、市民の皆さんのご協力、ありがとうございました。また想定を超える渋滞の発生などにより、ご迷惑をおかけしましたことをおわび申し上げます。

実験に合わせて行った調査やアンケートなどを検証した結果、一方通行化は見合わせ、現在の両方向通行を前提に、歩道の段差解消や部分的な拡幅などの整備を進めることとしました。期間中に行った調査の結果やアンケートでいただいたご意見などと合わせて、バリアフリー化に向けた将来像をお伝えします。

☎ まちづくり推進室 中心市街地担当
☎ 955-9563 ファク 951-5410



■ 急がれるバリアフリー化

高齢化が急速に進む中、長岡天神駅周辺のバリアフリー化が急がれています。安全とまちのにぎわいを両立させる方法として、一方通行化の社会実験を選択しました。

■ 一方通行が最適か？

天神通りは、JR長岡京駅から長岡天満宮につながるまちのシンボルロードとして、拡幅を進めています。

なぜ実験を行ったのか？

他方のアゼリア通りは、歩道の整備方法について、様々な検討を続けてきました。

道路の拡幅工事には、長い時間と多額の費用がかかります。また拡幅工事を行えば、沿道に並ぶ商店が移転してしまい、まちのにぎわいが失われる可能性があります。そのため、安全とにぎわいを両立させる方法として、一方通行化が適しているのか、その効果と課題を検証することにしました。

検証内容とアンケートでの意見

歩行者・自転車

- ▽ 期間中の歩行者が増加した反面、自転車の通行量が減少
- ▽ 仮設の歩道や路肩が広がることで、安全性が向上

「車いすを利用してあるので、歩道の段差や傾斜を早く解消してほしい」
「歩道が広がり、段差がなくなったので、ベビーカーを押していても、歩きやすくなった」
「雨の日でも、傘を差しながら、子どもと手をつないで歩いたので、とても

助かった」
* 「1」内は、アンケートの自由意見

「歩道は広くなったが、渋滞や車の台数が増えたので、歩いていて危険を感じる」とが増えた」
「自転車が走る路肩が周知不足で、走る場所がわからずに困った」



■実験の概要

期間＝昨年10月23日～26日の4日間

内容＝アゼリア通りを東向き、天神通りを西向きに、一方通行化。狭めた車道を仮設の歩道や路肩に割り当てた。一方通行化に伴い、バス停を移動

■期間中の主な調査

▷アゼリア通りや天神通り、区域内の南北の道路、交差点での車や歩行者、自転車の交通量調査

▷踏切による渋滞の長さ

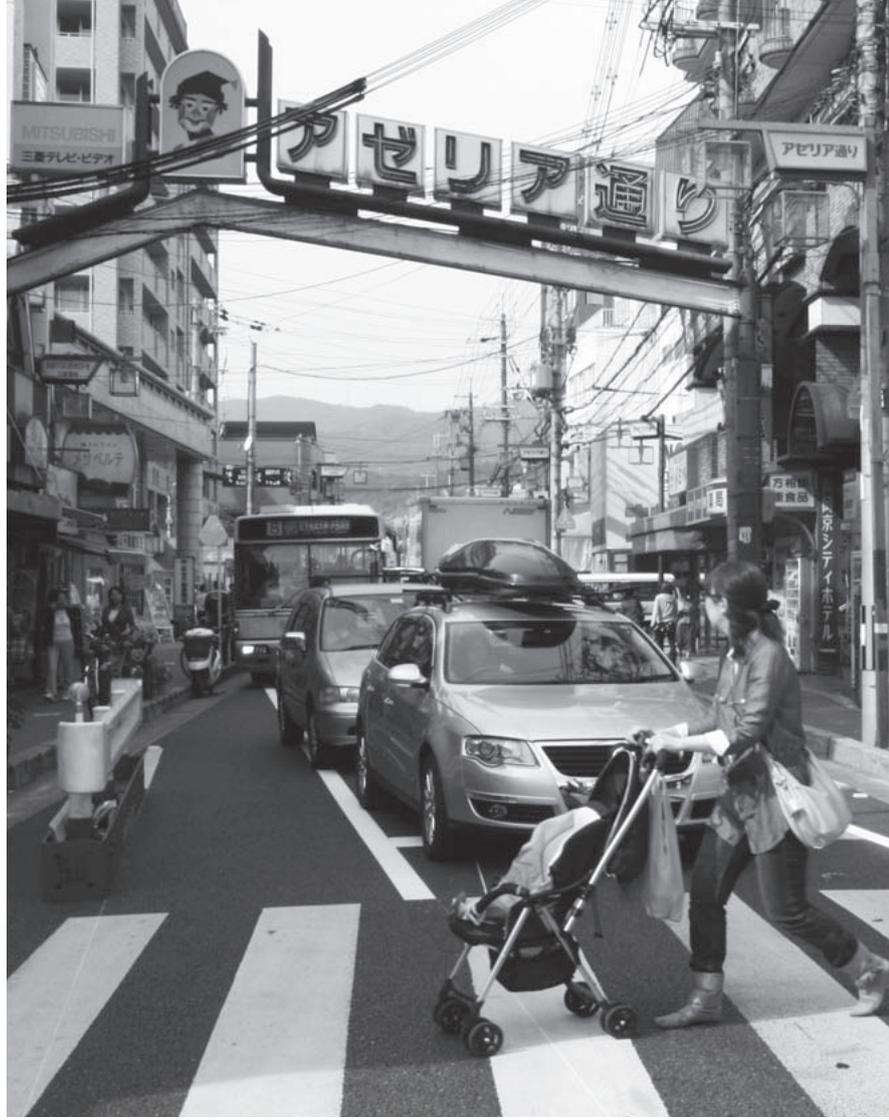
▷バスの乗降客数と時間の遅れ

▷歩行者や自転車の通行状況や車の通過時間のビデオ調査

▷荷さばきや送り迎えの車両の出入りや駐車状況の調査 など

■アンケート調査

歩行者・自転車利用者、自動車利用者、区域内の住民、バス・鉄道利用者、商店の経営者や来客、バス・タクシーの乗務員など、対象ごとにアンケート調査を実施しました。2,694票の回答があり、回収率は26.7%でした。



「普段から自転車の歩道への乗り上げや、路上駐車などマナーが悪い」

渋滞

▽通常時に比べ、平均してアゼリア通りは交通量が約3割、天神通りは約6割増加

▽アゼリア通りの渋滞が、踏切を中心に平均で通常時の80メートルに対して、250メートルに。主な要因は、交通量の増加や駅周辺道路からの車の進入、歩行者の道路横断など

▽アンケートでは、渋滞による反対意見が多数

「渋滞がひどく、目的地まで時間がかった。駅や商店へのアクセスが悪くなった。歩行者だけでなく、車のことも考えてほしい」

「渋滞がひどかったので、車の利用を控えた」



バス・タクシー・駅利用

▽バスの遅れは平均して2〜8分、最大で17分、通勤にも影響が

▽バスの利用者が約1割程度減少

▽バス停の移動で歩く距離が増えた

り、遠回りや渋滞によってタクシー料金が高くなり、負担が増した

「バス停が遠くなって買い物や通院が不便になった。歩道が広くなってバス停が遠くなるのは困る」

「ひどい渋滞で、バスが遅れて困った」
「バスの乗り継ぎやタクシーの利用を考えると、駅の改札やタクシー乗り場が南側にも必要」

区域内の道路と周辺道路

▽アゼリア通りと天神通りを結ぶ南北の道路への車が、1.5〜2倍増加

▽区域外の周辺道路の交通量が増加

▽安全性確保のためには、区域内の南北の道路や周辺道路の整備が必要

「アゼリア通りと天神通りを結ぶ南北の道が狭く、車がすれ違えないので危険を感じた」

「南北の道に車が増え、歩いていて危険を感じた」

商店への客足

▽歩行者や自転車の通行量に変化はあまりなかったものの、一方通行や渋滞、バス停の移動によって買い物が不便に

▽アンケートでは、商店主や来客からも反対が。買い物に行く店を変えたり、買い物を控える人も

「バス停が移動したことで、人の流れが変わり、来客数が減少した」
「遠回りしなければならなかったので、普段とは違うお店に買い物に行った」

一方通行化で見つかった課題

一方通行によってバリアフリー化する際には、大きな課題が3つ浮かび上がりました。

①渋滞

最大の課題となったのは渋滞です。想定以上の渋滞によって、車の利用者だけでなく、バスの遅れが発生するなど、公共交通機関を利用する人にも大きな影響が出ました。

②不便になるバス

バス停の移動により、通勤・通学や買い物などにバスを利用する人が不便になってしまいました。特にバリアフ

リー化を必要とするお年寄りや障がいのある人にとって、バスなどの公共交通機関の利便性の確保が必要です。

③区域内と周辺道路の整備

区域内の南北の道路や周辺道路の交通量が増えたことから、アゼリア通りと天神通りと共に周辺道路の整備が必要になります。

実現に向けた具体策

■5年後まで

—できる所から優先的に

道路管理者である京都府や関係機関とバリアフリー化の実現に向けた協議を進めます。両方向通行を前提として、アゼリア通りの駅周辺など、歩行者の通行量の多い箇所を優先的に、歩道の

段差や傾斜を解消します。当面は、歩道上にある柵や車止めを車道側に移動するなどして、実際に歩くスペースを広くします。

区域内の南北の道路や周辺道路で、車道と歩道の舗装の色を塗り分けるなどで明確にし、歩行者の安全性を高めます。

また建設中の、にせと(京都第二外環状道路)と阪急新駅の完成により、市内の交通や電車を利用する人の流れなどの変化を見極めます。

■10年後まで

—継続的に歩道を整備

両方向通行を前提として、引き続き歩道の段差や傾斜を解消します。用地買収が可能な箇所の歩道を広げます。

歩道の通行を妨げているものに電柱があります。電柱の移設や集約化によって歩道の整備を進めます。

■20年後までの間に

—歩行者優先の道路に

現在進めている天神通りの拡幅の完成を予定しており、長年の課題である駅前広場の整備方法を具体的に検討していきます。天神通りが広がることで、バス路線の変更なども予想されます。アゼリア通りでは、車の交通量の減少が見込まれることから、一方通行化や公共交通機関の通行に限定するなどの方法を検討していきます。

*詳しい結果報告は市民情報コーナー(市役所南棟1階)や市ホームページでご覧いただけます。

震災への支援にご協力ありがとうございます

■義援金と募金

義援金は、個人だけでなく、自治会や事業所、サークルなど団体からも多く寄せられています。たくさんのご協力ありがとうございます。



▶市内の小中学生が義援金を届けてくれました

●義援金の受付状況(4月6日現在)

義援金	件数	294件
	金額	794万6,473円
募金		446万5,708円
合計		1,241万2,181円

▷**義援金** 市民の皆さんからの義援金を引き続き市役所で4月28日(休)まで受け付けています。

受付窓口 = 市役所1階ロビーと分庁舎3の2階

受付時間 = 午前8時30分～午後5時(土・日曜日を除く)

▷**募金箱** 市役所と市内の公共施設20カ所、公立保育所6カ所にも**募金箱**を設置しています。

■支援物資

被災地から要望のあった支援物資を、3月28日から市役所で受け付けていました。物資は、府内の各市町村から集められ、京都府が被災地へ届けました。

●支援物資の受付状況

3月28日～31日…143件	4月4日～7日…55件
缶詰 1,291缶	カップラーメン 638食
簡易スープ 4,759食	レトルト食品 85食
栄養調整食品 532個	魚肉ソーセージ 432本
缶ジュース 2,844本	漬物 13パック
	味付けのり 628パック
	瓶詰め 160個

*4月8日現在、支援物資の受け付けは、休止されています。再開されれば、市ホームページでお知らせします。

☎危機管理監 防災・危機管理担当

☎955-9661 FAX951-5410